2019年11月22日
JXTGホールディングス株式会社

第50回 JXTG童話賞 表彰式開催！

〈小学生以下の部〉　最優秀賞:「まほうのばんそうこう」 桑田 咲月さん（茨城県つくば市）
〈中 学 生 の 部〉　最優秀賞:「雨やどりの停留所」 青木 志央理さん（京都府京都市）
〈一　般　の 部〉　最優秀賞:「雨がすき」 宮田 一平さん（神奈川県川崎市）

■日　時:2019年11月15日（金） 16:00～
■会　場:パレスホテル東京 2F「葵」（東）

JXTGホールディングス株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長:杉森 務）は、11月15日（金）に、パレスホテル東京にて、「第50回 JXTG童話賞」の表彰式を開催しました。10月16日に各部門から計33編の受賞作品を決定し、そのうち、一般の部、中学生の部、小学生以下の部より、それぞれ、最優秀賞1名及び優秀賞2名、計9編の受賞者を表彰しました。

「第50回 JXTG童話賞」表彰式

◆JXTG童話賞とは

「心のふれあい」をテーマに、毎年一般の方々からオリジナルの創作童話作品を募集し、優秀作品を選出しています。1973年に作品の初公募を開始し、これまでの応募総数は37万通を超えました。節目となる50回目を迎えた今年も、3部門合計で10，425編（小学生以下の部1，157編、中学生の部1，355編、一般の部7，913編）のご応募をいただきました。

（JXTGグループの取り組み）

JXTGグループは、JXTG童話賞入賞作品（佳作以上）をまとめた一冊の童話集「童話の花束」を発行し、全国の教育機関や児童福祉施設、里親家庭などに寄贈しています。また、「童話の花束」は、系列サービスステーションを運営する特約店の皆様にお買い上げいただくほか、JXTGグループ各社とその役員・従業員にもチャリティー販売を行い、売上金はすべて「JXTG奨学助成制度」の運営資金として全国社会福祉協議会に寄付しています。この寄付金は児童福祉施設等で暮らす子どもたちが大学や専門学校へ進学する際の入学支度金の一部として活用されています。

【選考委員講評　西本 鶏介先生】

人間が生きていくために何よりも大切なことは人を思いやることです。どうすれば、この思いやりの心を持つことが出来るのか、一人でも多くの人に考えていただくために、心のふれあいをテーマに童話を書いてもらう。これがJXTG童話賞のモットーです。今回の童話賞は令和元年、しかも第50回という記念すべき節目であります。幸運にも受賞された方は、生涯心に残ることでしょう。

今回の一般の部の最優秀賞は、偶然の相々傘の中で、お互いに相手を意識するという、幼い日のラブストーリー。誰もが共感できる、あたたかくて懐かしい気持ちになれる作品です。

中学生の部の最優秀賞も雨の日の出来事を描いた作品ですが、雨蛙のセリフがとても面白くて、夢を持ち続けることの大切さを教えてくれます。雨蛙と対話ができるという、詩的で明るい、楽しい話です。

小学生以下の部の最優秀賞は、筆箱の中から飛び出して来た、まほうじんの話です。不思議なバンソウコウも出てきますが、そのバンソウコウというのは、トイレや、お父さんの骨折も治すことができるのです。とても面白い、楽しいバンソウコウだと思いました。

みなさん、すてきな作品を書くためにも、これからも思いやりの心を忘れないで下さい。

＜選考委員＞
西本 鶏介（児童文学者）、立原 えりか（童話作家）、角野 栄子（童話作家）
中井 貴恵（女優・エッセイスト）、宮西 達也（絵本作家）、薫 くみこ（児童文学作家）

【受賞のコメント】

※カッコ内は現居住区。「氏名」は敬称を省略させていただいております。
※一般の部の年齢は2019年10月16日時点。

《受賞者代表あいさつ》一般の部　最優秀賞「雨がすき」宮田（みやた） 一平（いっぺい）

本日は、私ども受賞者のために、このように素晴らしい表彰式を開催いただき本当にありがとうございました。毎回、全部で1万編くらいの応募があるという話がありましたが、ものすごい数だと思います。第50回の童話賞ということでございますが、約半世紀の長きにわたり、私どものようなアマチュアに対してこのような素晴らしいチャレンジの場を提供し続けていただいていることに対しまして、心より敬意を表したいと思いますし、この童話賞を支えていただいている全ての皆様に、深く感謝を申し上げたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

＜一般の部＞
◎最優秀賞 「雨がすき」 宮田（みやた） 一平（いっぺい）（神奈川県川崎市／66才）

JXTGエネルギー 大田社長　　宮田さん

童話は若い時から書いてみたいと思いながら長いあいだ手をつける努力もせず、棚ざらしにしてきた私の夢です。今年の三月に新聞広告を見た妻から背中を押されてこの童話賞にチャレンジすることになりました。私の住む川崎市の栗平周辺は住宅地開発が進んだエリアではありますが、まだそこここに農園、草木多く、季節の香り立つ自然味豊かな農道も残されています。

『雨がすき』はこうした田舎道を散歩しながら、なんとなく浮かんできたストーリーを童話にしたものです。私自身、もう“花”や“達夫”の時代には戻れませんが、どの時代へも、どんな場所へも空想することで自由に飛んでいける童話の世界をこれからも楽しんでいけたらと思っています。

栄えあるJXTG童話賞に入選できましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

＜中学生の部＞

◎最優秀賞 「雨やどりの停留所」 青木（あおき） 志央理（しおり）（京都府京都市／中学3年生）

JX金属 村山社長　　青木さん

小さいころから物語を読むことも書くことも好きで、『童話の花束』には小学六年生の時から応募してきました。このお話は、雨やどりをしていた時、まるで別世界にいるような不思議な気持ちになったことがきっかけで書き始めました。もし雨蛙が雨やどりをしていたら、という駄洒落のような発想が次々と浮び、自然とペンが進みました。結局締め切りギリギリに書き上げた作品だったので、受賞を知った時は身体がふわっと浮かぶような信じられない気持ちでいっぱいになりました。雨やどりの停留所という小さな舞台ですが、雨蛙と女の子の心のふれあいを感じていただけたらうれしいです。

この度は、このような素晴らしい賞に選んでいただき、本当にありがとうございました。これからも誰かの心に残る作品づくりを目指して頑張っていきたいと思います。

＜小学生以下の部＞

◎最優秀賞 「まほうのばんそうこう」 桑田（くわだ） 咲月（さつき）（茨城県つくば市／小学1年生）

JX石油開発 大橋副社長　　桑田さん

わたしは、このどうわしょうで、さいゆうしゅうしょうにえらんでいただいてとてもうれしいです。ほんとうにありがとうございます。

このはなしをなんでおもいついたかというと、アラジンのおはなしがすきで、わたしのところにもまじんがきたらいいなとおもったからです。まほうじんのモデルはパパです。いつもおふろからあがってくるとはだかでおもしろいので、それをさんこうにまほうじんをかきました。

わたしがけがをしたときにばんそうこうをはると、まほうのようになおるので、それがけがだけではなくいろいろなものがなおせたらゆかいだな、とおもってまほうのばんそうこうをつくりました。わたしのよそうしていたばんそうこうだとしゅじんこうのさゆりちゃんぐらいのおおきさです。

これからもこのどうわしょうにさんかしようとおもいます。たとえしょうにはいらなくても、さくぶんやおはなしづくりがすきなのでかきつづけたいとおもいます。

※受賞者一覧につきましては、こちらのリンクよりご覧いただけます
https://www.jxtg-group.co.jp/hanataba/awards/new/result/

「第50回 JXTG童話賞」表彰式　開催概要

◆会場：　パレスホテル東京　2F「葵」（東）
　　住所　東京都千代田区丸の内1－1－1

◆出席：　受 賞 者　小学生以下の部（3名）、中学生の部（3名）、一般の部（3名）
　　主 催 者　JXTGホールディングス株式会社　代表取締役社長　杉森 務
　　選考委員　西本 鶏介（児童文学者）、立原 えりか（童話作家）、角野 栄子（童話作家）
　　中井 貴惠（女優・エッセイスト）、宮西 達也（絵本作家）、薫 くみこ（児童文学作家）
　　＜敬称略＞

＜本件に関する問い合わせ先＞
「第50回 JXTG童話賞」表彰式PR事務局（ジェーワン内）　担当：大柳、久保　TEL：03－3584－4981

童話の花束（その50）」刊行記念プレゼント企画

1．プレゼント内容

第50回JXTG童話賞作品集「童話の花束（その50）」

※一人3冊まで

2．申込方法

住所・氏名・希望冊数を明記し、郵送料分の切手を同封のうえ、封書で以下の宛先へ申し込む。

＜宛　先＞

〒100-8692　日本郵便（株）銀座郵便局　私書箱610号

「JXTG童話賞プレゼント係」

＜郵送料＞

1冊：215円、2冊：310円、3冊：360円

3．応募期間

2019年12月～2020年2月末

以上